

府中市 バス路線の再編に関する 地域意見交換会



本日の予定

01	開会	
02	説明	15分
03	グループワーク	40分
04	まとめ	5分
05	閉会	

現状

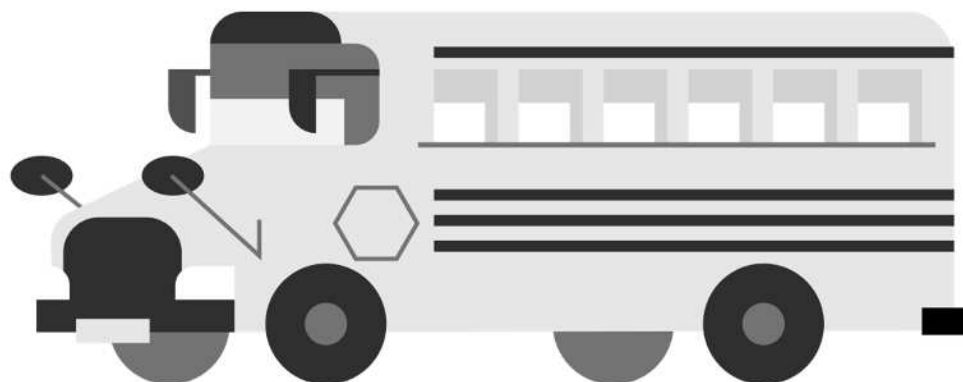
府中市においてもバス路線の維持が困難になっていることから、交通分野の学識経験者や鉄道、バス、タクシー事業者のほか、高齢者、障害者等の市民で構成される府中市地域公共交通協議会において、コミュニティバスを含む市内のバス路線の再編を検討しており、令和6年3月の会議で再編案のたたき台について了承を得ました。

背景

府中市では、14の鉄道駅や多数の路線バスに加え、コミュニティバスの運行などにより、利便性の高い公共交通ネットワークが形成されています。一方で、全国的には、人口減少の本格化に伴う公共交通の需要の縮小などにより、公共交通サービスの維持・確保が厳しくなる中、高齢者の移動手段の確保などが課題となっています。

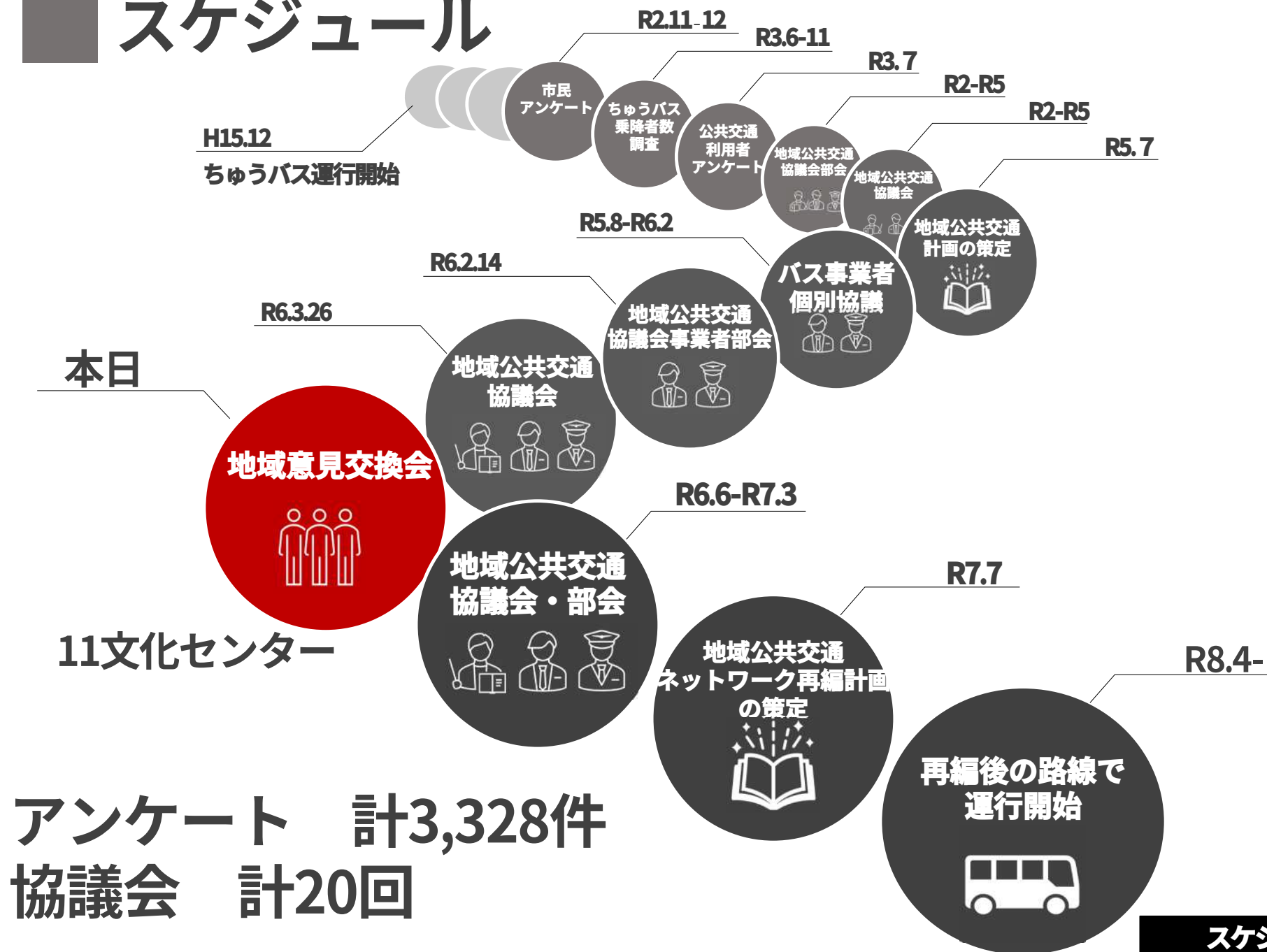
■ 本日の目的

地域意見交換会は、11の文化センターで開催し、**地域の皆様にバス事業の現状を知ってもらう**とともに、バス路線再編案のたたき台について**グループワーク形式で意見交換**をしていただきます。



地域意見交換会の目的

スケジュール



■ バス路線再編の課題

市、専門家、事業者、福祉団体、市民などからなる協議会で整理した課題

重複課題

長大課題

収支課題

移動ニーズ課題

需給課題

その他の課題

次ページから

再編案検討のポイント

ちゅうバスと路線バスは重ならないようにする



バス事業者

ちゅうバスと路線バスが重複していると経営に悪影響だし、他のところにバスが回せないな

例：朝日町ルートと重複する路線バス
多磨駅～榊原記念病院 1日計97本



例：北山町循環と重複する路線バス
療育センター前～横街道 1日計34本



Aさん

ちゅうバスも路線バスも走ってるから安いちゅうバスに乗ろう

POINT

ちゅうバスと路線バスで利用者を取り合うとバス全体の収支が悪化する。

重複課題

ちゅうバスの路線延長は、なるべく短くする



Bさん

ちゅうバスの本数を
増やしてほしいな

1台1年間運行
約2,000万円



サービスレベル上げたいけど、これ以上台数は増やせないな



府中市

POINT

同じ経費でサービスレベルを上げるには、路線延長を短くする。

長大課題

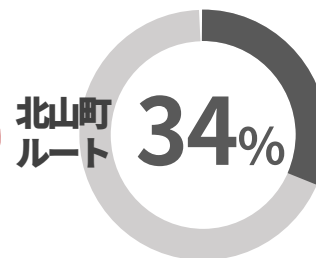
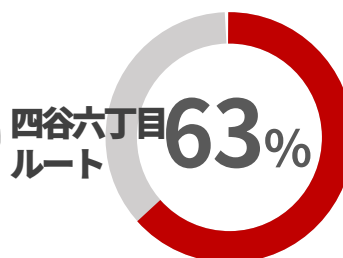
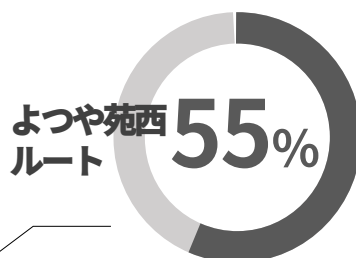
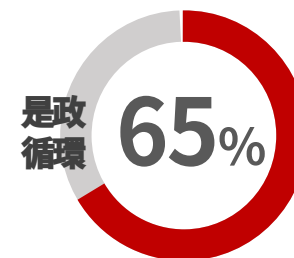
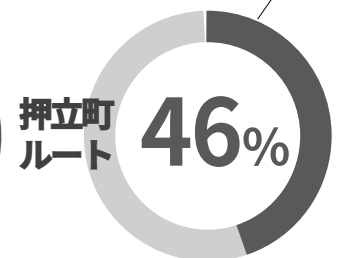
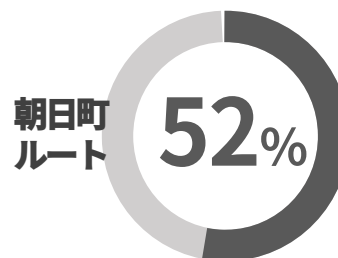
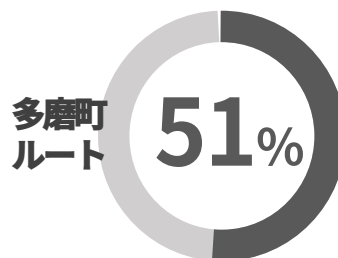
ちゅうバスの経費に対する収入の割合を増やす



府中市

補助金が毎年平均1億7千万円、経費も上がって、このまま続けられるかな

運行収入
乗っている人が
払っている経費



補助金
乗っていない人も
払っている経費
(市民1人当たり約660円/年)

路線バスしか走っていない
地域だけど、運賃が値上げ
になったな



Cさん

POINT

経費を下げ、収入を増やし、**収支率60%以上**を目指す。

収支課題

移動実態に合わせて、バス路線を検討する



Dさん

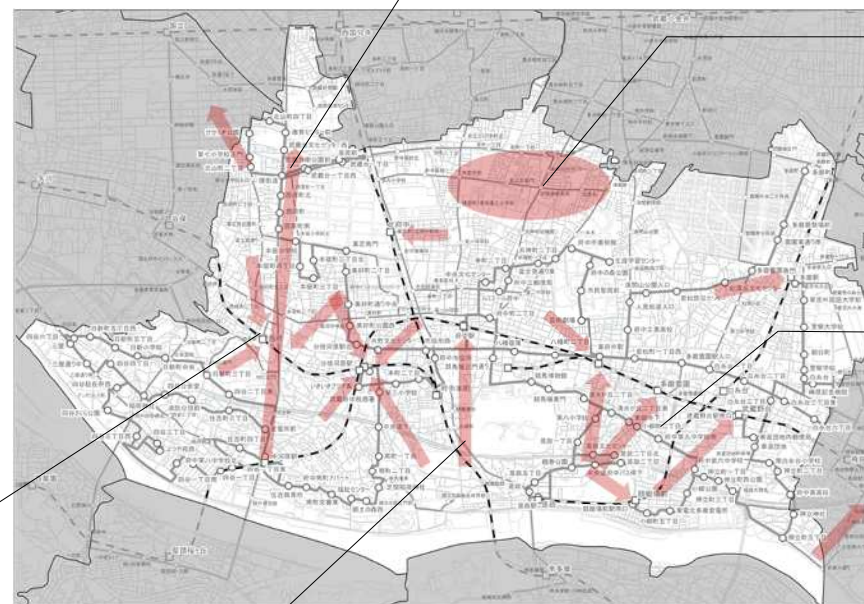
最寄駅にバスで行きたいな

府中駅で乗り換えが必要

東西の移動がしにくい

最寄駅に繋がっていない

西府駅に繋がっていない



ほとんどバスが走っていない

路線を通して実際に利用されないと困るな



府中市

POINT

アンケート調査結果や利用実態をもとに**利用される路線案**を考える。

移動ニーズ課題

運転手不足に備えて運行台数を整理しておく



バス事業者

バスの運転手が足りないな。
労働基準も変わったし、更
に不足するかも

必要な運転手数に対して



(公社)日本バス協会(バス運転者数見込み(2030年試算))2023年9月に基づき作成



Eさん

高齢で自家用車を使わない
からバスを使う機会が増え
るな

POINT

ちゅうバス(現在18台)に当てはめると**将来的には14台**しか運行できない。

需給課題

※ちゅうバスは、令和5年度時点で運転手が不足せず運行しているので約21%不足で試算しています。

今回のバス再編だけでは全部対応できないことを把握する



路線バスはシルバーパスが
使えて便利だな



ベビーカーでも乗せやすい
バスがいいな



通院でバスを使いたいけど
乗継ぎが大変だな



朝早くから運行してほしい
な



バランスが大事



府中市

同時に対応はできない

POINT

できることから対応し、**見直し**を前提として再編する。

府中市はバスが充実してる
からタクシー運転手が
別の町に流れているな

デマンド交通が運行したら
タクシーは更に厳しいな



タクシー事業者



鉄道事業者

ちゅうバスも路線バス並み
の運賃じゃないと路線バス
の運行に影響が出るな

7割の路線バスは赤字だし、
今後維持できない路線バス
があるな



バス事業者

その他の課題

バス以外の方法で移動できるように考える

事業10 タクシーの更なる活用検討

地区間

■内 容： タクシーにおける相乗りサービスや事前確定運賃など新たな制度の動向を踏まえながら、通院や子育てなど、移動に快適性が求められるニーズに、より柔軟に対応できるよう検討を進めます。

また、市は、タクシーの新たな制度に関する調査研究を進めるとともに、タクシー利用者の増加につながるよう、市民の移動ニーズへの対応について事業者と協議します。

■目 標： 1-② 4-①

■対 象： タクシー

■実施主体： タクシー事業者、府中市

事業17 MaaS、自動運転、新たな移動手段等に関する調査研究

全域

■内 容： 全国的に、デジタル技術や新たな技術を活用した公共交通の利便性向上や運行効率化を図る取組が推進されていることを踏まえ、本市の地域課題・交通課題の解決に資するMaaS、自動運転、デマンド交通、グリーンスローモビリティ等の導入について調査研究を進めます。

また、他施策を進める場合は、ICTの活用や次世代モビリティなどの新たな移動手段の実証実験などを積極的に進めていきます。

■目 標： 1-② 2-① 2-② 4-①

5-② 5-③ 6-②

■対 象： ー

■実施主体： 府中市、交通事業者



自動運転の実証運行（京王バス提供）

事業16 移動手段の検討における市民協働の促進

重点事業

地区内

■内 容： 買物、通院、市民活動などを行うときに、きめ細かい交通へのニーズが高い地区内において、コミュニティバスなどでは当該ニーズに対応できない場合は、ボランティア輸送など市民協働の視点を取り入れた移動手段を検討します。

なお、地域公共交通ネットワークの再編における地区内交通手段の在り方を踏まえて検討します。

■目 標： 2-① 2-② 3-② 4-① 6-①

■対 象： ー

■実施主体： 府中市、市民ほか

事業11 多様な輸送資源の活用検討

重点事業

地区内

■内 容： 日常生活圏内の公共交通の利便性や交通弱者の移動に課題がある地域については、市内で提供されている施設送迎バスや福祉有償運送、シェアサイクルなど、多様な輸送資源を活用した新たな移動手段を検討します。

なお、地域公共交通ネットワークの再編における地区内交通の在り方を踏まえて検討します。

■目 標： 1-② 2-① 2-② 3-②

3-③ 4-①

■対 象： 既存公共交通以外の輸送サービス

■実施主体： 府中市



福祉有償運送

（出典：府中市社会福祉協議会ホームページ）



地域公共交通計画で位置付けた事業を検討

府中市

POINT

バスの再編案だけでなく **バス以外の方法** も検討する。

その他の課題

再編方針案（地域公共交通協議会で決定）

方針1	（基幹交通軸の維持） 鉄道及び1日片道30本以上の路線バスは、既存路線の機能・サービス水準の維持を目指す。
方針2	（重複区間の解消） 起終点、停留所、時間帯等が重複しているバス路線は、再編対象とする。
方針3	（ニーズに合わせた再編） 安全性、採算性及び移動実態を踏まえて課題があるバス路線は、その優先度に応じて再編対象とする。
方針4	（階層による役割分担） 市内の主要拠点や隣接市の鉄道駅等への公共交通の接続を検討する。
方針5	（長大な路線の見直し） 運行距離が長大なコミュニティバスの路線は、市内の最寄り駅まで接続するよう再編を行う。
方針6	（コミュニティバス路線の見直し） コミュニティバスの路線は、各路線が収支率60%以上を確保できるよう再編を行うとともに、収支率が向上する範囲で、路線毎に利便性の向上を検討する。
方針7	（コミュニティバス運賃の見直し） コミュニティバスの運賃は、利用者数の目標値及び一般路線バスの運賃水準を考慮し、市の補助金額の適正化に資する運賃設定を検討する。
方針8	（コミュニティバスの一般路線化） 路線バスとして運行が可能なコミュニティバスの路線は、一般路線化を検討する。
方針9	（新たな移動手段の検討） 新たな移動手段は、既存の公共交通だけでは課題を解決できない場合に限り、補完的な手段として導入を検討する。
方針10	（基本的な方針の実現に向けた見直し） ネットワーク再編の内容は、再編後の状況と基本的な方針の実現状況に応じて、適宜見直しを行う。

ちゅうバス再編の前提条件（地域公共交通協議会で決定）

○ちゅうバスの**運行台数は上限17台**とし、現行路線の**利用者数に応じて分配**する。



予備2台

運行18台→17台

➡ 利用が多い区間に台数を分配
(乗り切れなくならないように)

○ちゅうバスの**府中駅接続**は利用状況に応じて**暫定的に残す**ことを検討する。

府中駅
乗降者 **67%**



現在の需要にも対応しないと大幅な収入減となる
(どのように府中駅接続を残すかは要検討)

○**維持困難路線を統合**するちゅうバスは、**サービス水準の低下**が見込まれる。

運転手不足などで
維持困難路線
(バス事業者が選定)



分52／府52／府61
西府01（永80・81）
中02／中03／桜08／桜19



近くのちゅうバス
又は新たなちゅう
バス路線でカバー

前提条件

ちゅうバスの運行目的案（地域公共交通協議会で決定）



<ちゅうバスの導入目的>

- ①利用したくなるバスを導入することにより公共交通機関の利便性を向上させる
- ②移動に制約を伴っている方々の社会活動機会の増大に寄与する
- ③市中心部の買物施設・公共施設へのアクセス性を高め、まちづくりに寄与する



第7次府中市総合計画

1 地域公共交通の利便性の向上に寄与する

誰もが自由に移動ができる

2 移動に制約を伴っている方々のニーズに対応し、社会活動機会の増大に寄与する

まちづくりと連携した

3 市中心部・最寄り駅・主要拠点等へのアクセス性を効率的・効果的に高め、まちづくりに寄与する

持続可能な地域公共交通

4 他の公共交通と連携し、市内の地域公共交通の持続可能性に寄与する

運行目的

再編案のたたき台の考え方

最寄駅接続

再編方針に基づき公共交通ネットワークの役割分担を前提として**最寄り駅接続を中心**とした路線案たたき台

府中駅接続

現行の利用状況を踏まえ、**暫定的に府中駅への接続を**維持した路線案たたき台

時間帯別

最寄駅接続と府中駅接続を**時間帯を分けて切り替える案**たたき台

エリア別

最寄駅接続のエリアと府中駅接続の**エリアを整理する案**たたき台

など

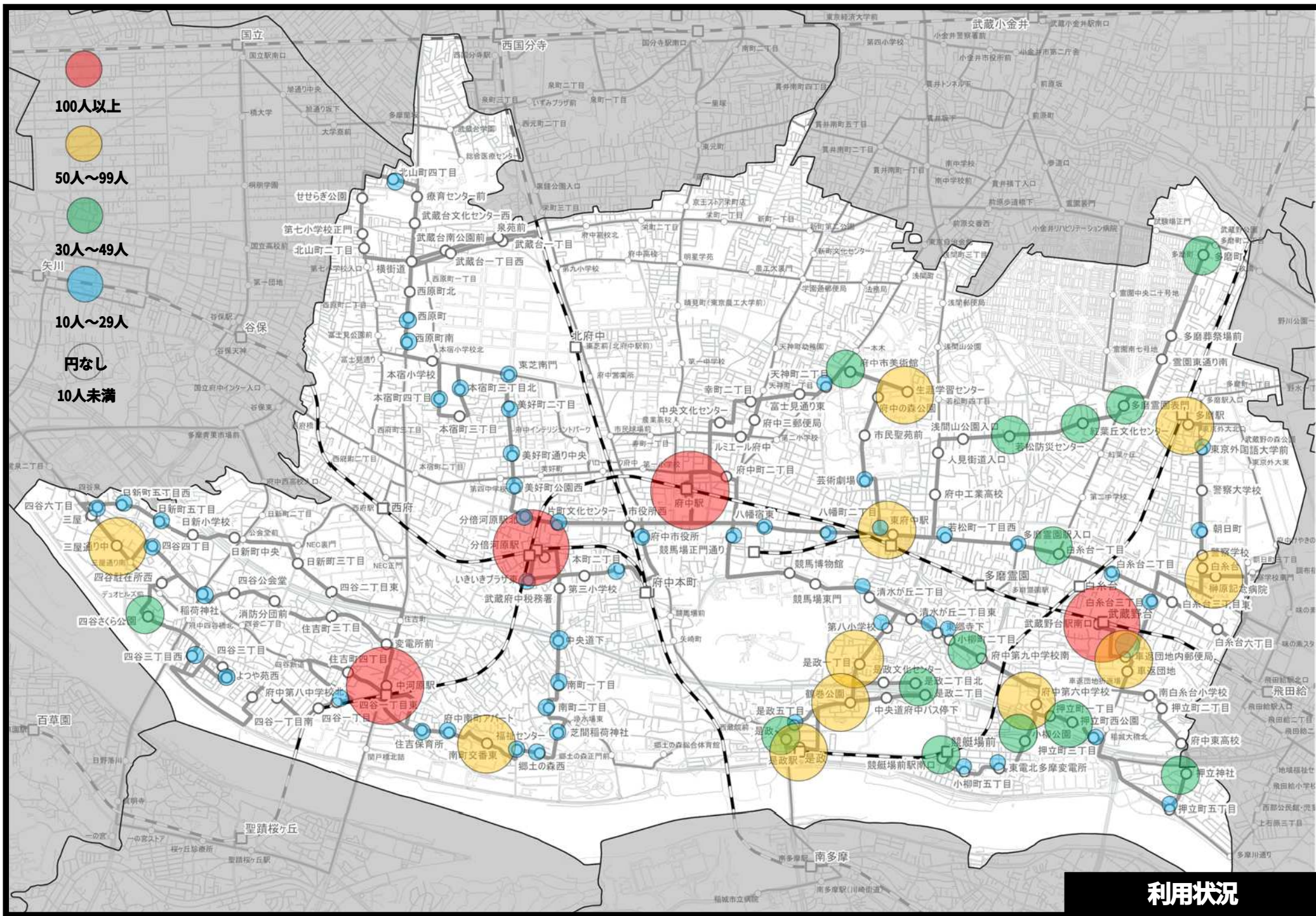
これまで出てきた課題に
対応した再編案だよ



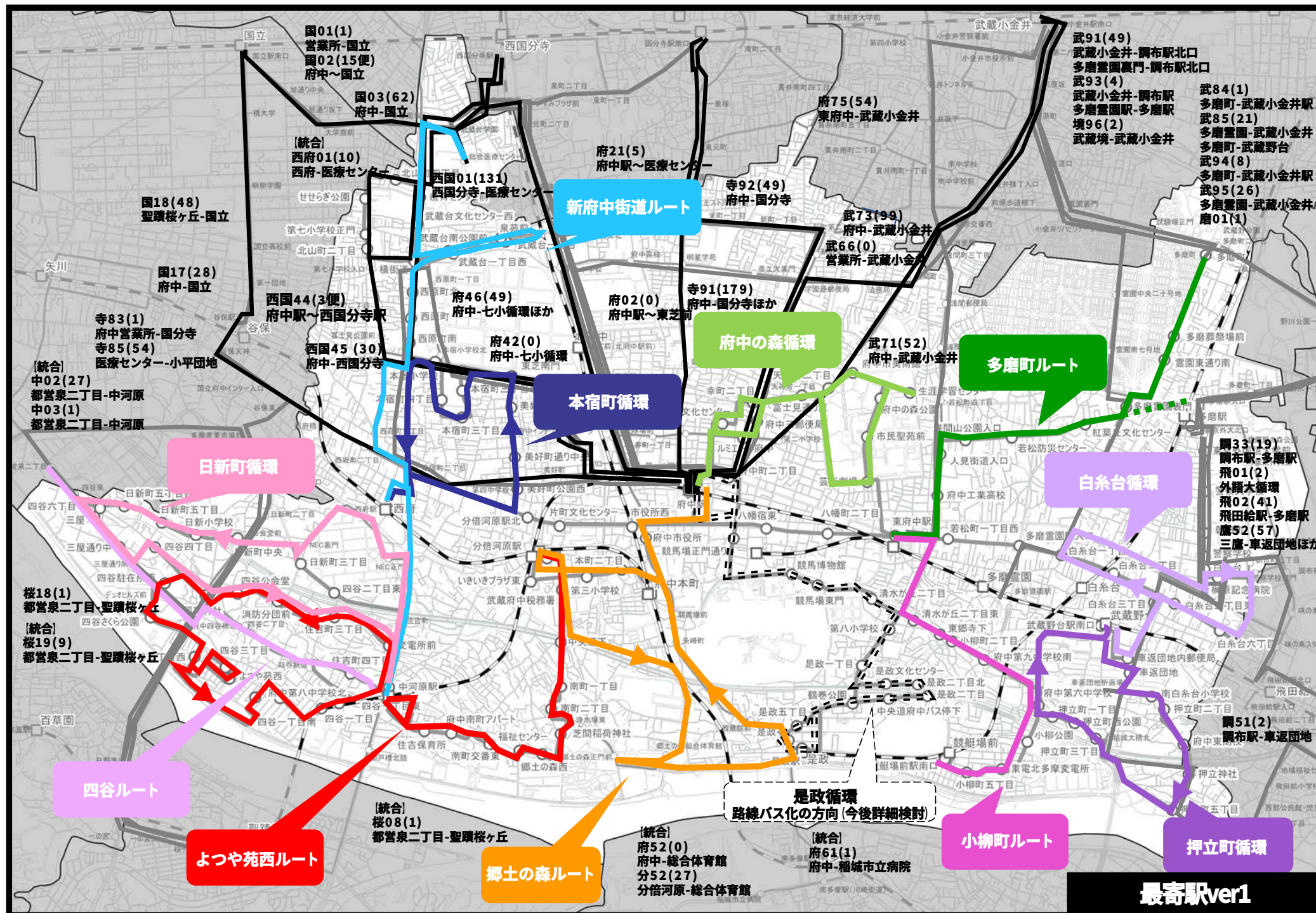
再編案のたたき台



■ ちゅうバス現行ルートの日あたりの停留所ごとの利用状況



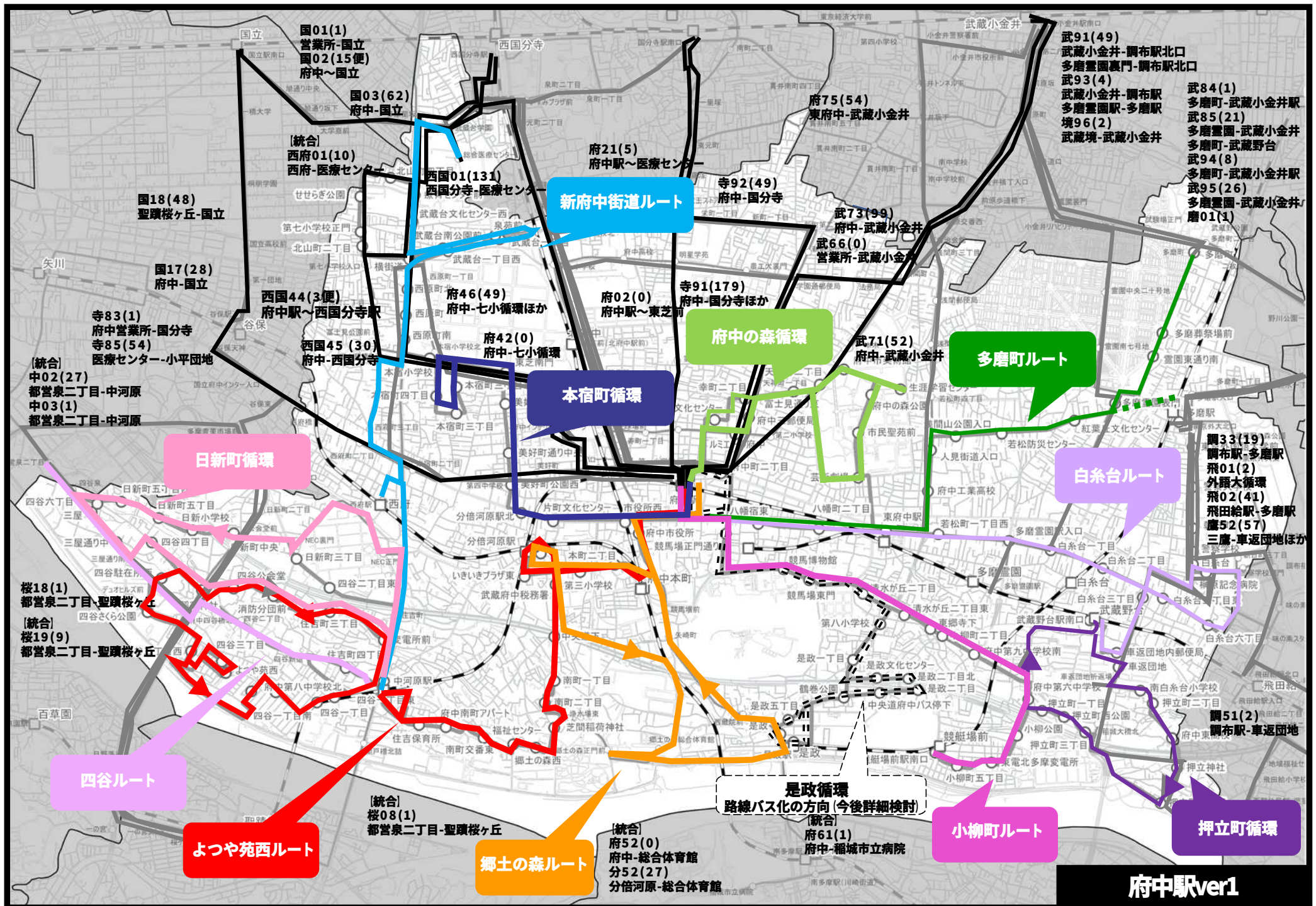
■ 最寄駅接続 (たたき台)



最寄駅ver1

※上記の路線図は、課題対応及び前提条件を踏まえ作成したものであり、今後、意見交換会や運行事業者、関係機関との協議により修正を行います。路線名は仮称です。

府中駅接続 (たたき台)



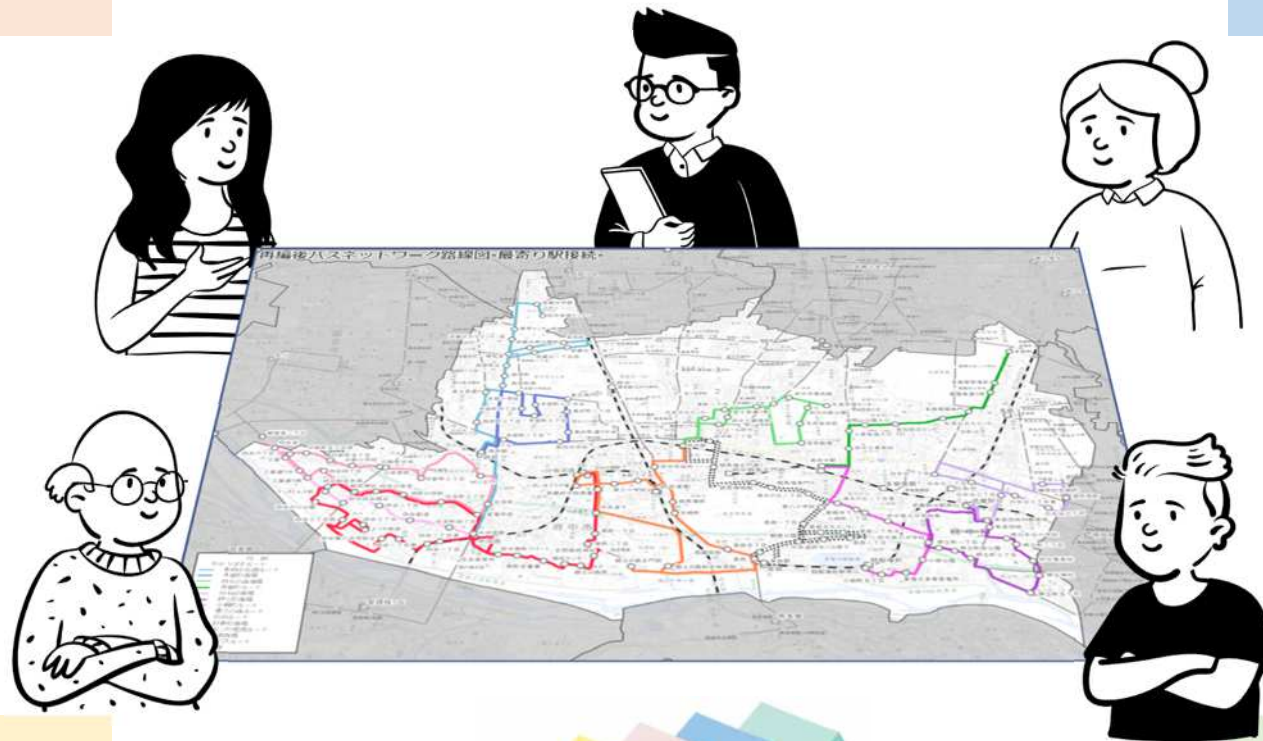
※上記の路線図は、課題対応及び前提条件を踏まえ作成したものであり、今後、意見交換会や運行事業者、関係機関との協議により修正を行います。路線名は仮称です。

グループワーク

ルート
(道路・起終点・経由地)
について

1. 自己紹介 (名前・居住地域)
2. 意見交換 (事務局で付箋にメモ)
3. まとめ

サービス
(時間帯・頻度・料金)
について



バス停について

その他について